

福祉用具サービス計画作成研修 詳細

日 程 : 2019年〇月〇日(土)
時 間 : 13:00~17:00
会 場 : 〇△□×
参加予定 : 福祉用具専門相談員 〇〇名
作業療法士 〇名
介護支援専門員 〇名

謝 金 : 10,000円

※お支払はご指定の口座にお振り込み致します。

交 通 費 : 自宅最寄り駅から会場までの公共交通機関利用相当額
※公共交通機関の利用が困難な場合はお車でお越しください。
お車での移動にかかる高速道路料金、駐車料金をお支払いいたします。

お問い合わせ : 株式会社トーカイ 企画課 横山 俊之
携帯番号 : 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

《当日ご持参頂くもの》

- ・ご印鑑(必要書類にご捺印を頂くため)
- ・筆記用具
- ・名刺
- ・謝金 振込先の口座情報
(金融機関、支店名、口座番号、預金種目、口座名義の氏名)

※今回の研修を通じてお預かりした個人情報について守秘義務を負うものとし
個人情報~~は~~第三者に、開示・提供しません。また、利用目的以外には使用しません。

※謝金・交通費については弊社から銀行振り込みにてお支払い致します。
(お支払予定日は、翌月の25日頃を予定しております。)

※また、謝金のお支払いに対して必要となる支払調書作成に伴う事務手続きを弊社では人事本部
が行う事としております。つきましては12~1月頃に人事本部よりご連絡がございますので、
ご対応の程宜しくお願い申し上げます。

《当日こちらでご準備いたします》

- ・事例2種類(事前にメールでもお送りさせていただきます。)

《研修の内容について》

2つの事例に対して『福祉用具サービス計画書（※選定提案書）』をグループごとに検討し作成してもらいます。※選定提案書（機能や価格帯の異なる複数商品の提示を行うための様式）

そこに助言役（アドバイザー）として入って頂きたいと思います。

また、事例（課題）につきましても、読み込むための時間を少しでもグループワークに充てたいため、事前に配布する予定です。

尚、助言者役としてお願いしたいこととして、グループ内で議論されていることに対し、その事例に登場する**ご利用者やご家族に介護支援専門員としてどのような視点で接し、留意すべきか？**もしくは、**我々がどのような視点で接し、留意しなければならないのか？**を介護支援専門員の視点でアドバイスいただければと思います。

《グループの構成》

作業療法士（アドバイザー）、介護支援専門員（アドバイザー）、福祉用具専門相談員で構成。

《タイムテーブル》

時間	内容
12:30	集合時間
13:00 ~ 13:05	オリエンテーション
13:05 ~ 13:10	グループ内の自己紹介
事例1	
13:10 ~ 13:50	『福祉用具が必要な理由』の作成 ※ご利用者・ご家族（介護者）の心身状況や背景からどのような課題が考えられるのか？ そして、それに対して福祉用具を用いてどんな解決策を立てるべきなのか？
13:50 ~ 14:00	グループごとに『福祉用具が必要な理由』の発表
14:00 ~ 14:40	『具体的に提案する福祉用具』と『提案する理由』の作成 ※ご利用者・ご家族にとって（心身状況や背景から見て）、その福祉用具は適切なのか？ ※機能や価格帯の異なる複数商品の提案を行う。
14:40 ~ 14:55	グループごとに『具体的に提案する福祉用具』と『提案する理由』の発表
14:55 ~ 15:10	休憩
事例2	
15:10 ~ 15:50	『福祉用具が必要な理由』の作成
15:50 ~ 16:00	グループごとに『福祉用具が必要な理由』の発表
16:00 ~ 16:40	『具体的に提案する福祉用具』と『提案する理由』の作成
16:40 ~ 16:55	グループごとに『具体的に提案する福祉用具』と『提案する理由』の発表
16:55 ~ 17:00	総括 ※グループワークを通じて感じたこと、作業療法士からの要望など、 1人あたり1分程度お話し頂きたいと思います。

※細かい時間配分については、当日の流れを見ながら随時変更していきます。